

被災の実体験と 苦難の日々を語る



岩手県山田町の自宅が津波により消失、辛くも一命を取留めた。横浜での避難生活も4年経過したが、被災地の現実が未だに理解されていない。

このジレンマを訴えたい～

◆日時: 2015年 **7月18日(土)14時～16時**

◆会場: みどいーむ (緑区市民活動支援センター)

◆講師: 浦辺 利広 氏
(東日本大震災の被災者、横浜市で避難生活4年)

◆定員: 50名 (落選者のみ連絡)

◆参加費: 無料

◆申込方法: 裏面を参照ください

◆申込締切: 7月10日(金)必着



被災時の山田町

主催 緑区市民活動支援センター 防災・減災講座実行委員会
共催 まちづくりネットワーク緑 ・ 緑区役所

<主催者からのメッセージ>

横浜は90年前（大正12年）関東大震災に見舞われ、多くの犠牲者を出しました。

そして、東日本大震災から4年余が経過し、改めて防災・減災について「市民自らの積極的な行動」の必要性が問われています。

この教訓を踏まえ、横浜市は災害での被害を最小限に抑える「減災」にむけて取組むため、横浜市防災計画「震災対策編」の見直しを行いました。

そして、私たちの命は私たちが守る「よこはま地震防災市民憲章」を制定しました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われるように、大地震は必ずやってきます。

その時、行政からの支援はすぐには届きません。地震災害への心構えが大切な命を救います。

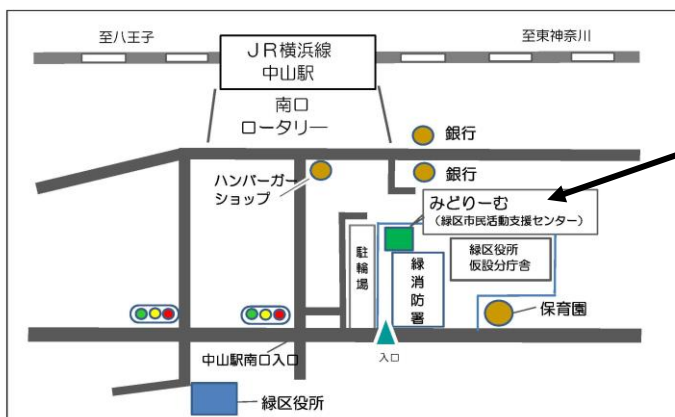
皆さん、日常生活に防災・減災の備えを組み入れて、安全安心な暮らしを目指しましょう。

公開講演会「被災の実体験と苦難の日々を語る」 受講申込書

- 申込方法： 必要事項を記入し、ハガキ・メールまたは持参で申込み
〒226-0011 緑区中山町 93-1
★メール： md-midreamkouza@city.yokohama.jp
- 問合せ先： みどリーむ ☎ 938-0631 「防災・減災講座」係りまで
- 申込み締切： 7月10日（金）必着

ふりがな 氏名	
住所	〒
電話	

- 申込み者は、当日直接会場にお越しください。
- 本申込みに登録された個人情報、講座の運用以外には使用いたしません。



みどリーむ
(緑区市民活動支援センター)

- * JR中山駅南口・市営地下鉄グリーンライン中山駅下車徒歩7分
- * 駐車場はありません。
電車・バスをご利用ください。